

第8回 健診等専門委員会 議事概要

1. 日時

令和4年12月1日

2. 方法

持ち回り開催による

3. 議題

〈報告事項〉

1. 特定健診・特定保健指導の見直しに関するとりまとめ（報告）
2. その他

4. 持ち回り開催結果

報告事項に係る主な意見は下記のとおり。

○議事1. について

- 喫煙について、「②以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない（条件2のみ満たす）」を加えることに関して、以下のように考える。禁煙を開始して1ヶ月の人は「行動変容の実行期」にあり、禁煙開始後ある程度時間が経過している「行動変容の維持期」の人よりも喫煙を再開するリスクが高いと考える。よって、過去喫煙者の中でも双方を区別するような選択肢を作ってはどうか。
- P12 腹囲2cm・体重2kg（腹囲1cm・体重1kg）の表記について、「・」が「かつ」と意味しているのか、「又は」を意味しているのが不明瞭なため、明確に記入すべきである。
- P12 腹囲は、測定者によっては、または、被検者が少しでもおなかに力を（被験者にわからない程度に）入れれば、1～2cmの誤差は生じる可能性が高い。体重に関しても健診の季節による変動（冬は体重が増加、夏は体重が減少する傾向があり）、衣服の重量によっても1～2kgは変動する。この点は、P16の「客観性の担保の仕方等に懸念が生じうることが指摘された」とあるので、おそらくWGで議論されたものと推察されるが、今後作成するマニュアルにその可能性を明記し、測定の注意点・標準化を強調することに加えて、保健指導対象者には、「今後の励みとなる保健指導の成果の目安と言えるが、血圧、血糖、脂質への効果には個人差があること、そして継続が大切であること」をしっかりと説明する必要がある。また、「腹囲2cm・体重2kg減が達成しても、腹囲、体重の目標値（メタボの基準値未満）を超える対象者には、これはあくまでスタートであり、さらなる目標に向かって来年の健診で確認していき

ましよう」といったメッセージを添える必要がある。そうしないと、昨年よいと言われたのに、また、今年も保健指導に呼ばれたと不満を抱き、特定保健指導に参加しない、ひいては特定健診を受診しなくなる人も出てくる可能性がある。

○議事2. について

- 特記事項無し